

◆**区財政について**
 問 今後の区財政の見通しは。
 区長 歳出においては扶助費、社会保障関係経費等が増大。
 ◆**地方法人課税の見直しについて**

問 国の税制改正の動向や、その将来的な影響への見方は。
 企画 地方消費税交付金の増収が見込まれる一方、財政調整交付金が大幅な減収となる。
 ◆**平成26年度決算状況と健全な財政基盤の構築について**
 問 ①景気が回復する中、經常収支比率が変わらない理由は。
 ②今後の健全な財政基盤構築のための取り組みは。
 ③区内経済活性化のためには補正予算が必要。区長の所見は。

企画 ①一般財源が増えたが、扶助費等の經常経費が増加。
 ②受益と負担のあり方を検討。税収確保等に努める。
 区長 ③経済情勢もかんがみ、編成。

◆**区長の基本姿勢について**
 問 ①効率的な財政運営を。
 ②マイナンバー制度の情報提供と中小企業への支援体制を。
 ③道路の安全対策を。
 ④女性登用目標策定を。
 ⑤保育所の待機児童解消を。
 ⑥ひとり親家庭の子どもへの支援強化を。
 区長 ①無駄を省き持続可能な運営を目指す。
 区民 ②チラシの全戸配布等で周知。産業融資制度等で支援。
 土木 ③整備に際し安全確保に努める。
 総務 ④実態に合わせた計画を策定。
 教育長 ⑤1歳児定員を拡大。
 福祉 ⑥学習支援等効果的な支援策を検討。

◆**区政改革について**
 問 ①行政として自らの改革は。
 ②仮称区政改革計画の策定には区民への丁寧な説明を。
 ③高齢者ボランティア活動ポイント制度の実施を。
 ④保育所等委託化民営化を。
 ⑤空き

◆**産業振興について**
 問 ①ビジョンの戦略計画を進めるための方針は。
 ②創業支援事業の実施状況と成果は。
 ③「特色ある商店街づくり」事業の目指す方向性、目的は。
 区長 ①福祉・生活関連産業、農業、アニメ、都市型観光の4分野を中心に取り組み強化。

特色ある商店街を支援し、地域の活力を創出

練馬区議会自由民主党 村上 悦栄

副区長 ②26年度参加者は25人、前年度の1.5倍。
 ③まちづくりを契機に商店街再生に取組む地域等を重点的に支援。
 ◆**地域医療と既存病院への支援制度について**
 問 ①病床を増やし、医療機能を充実することが重要では。
 ②東京都の地域医療構想の策定過程において、区はどのよう

に出た保育所のマッチング支援を。
 ⑥ICT活用推進を。
 区長 ①執行体制の見直し、職員の意識改革等積極的に取り組む。
 ②区民と直接議論する場を設定。
 福祉 ③制度導入を含め検討。
 教育長 ④取り組み状況等を踏まえ具体化。
 ⑤子育て総合相談窓口体制を

整備。
 副区長 ⑥利便性とサービスの質の向上に取り組む。
 ◆**自主財源の確保について**
 問 ①公共施設の壁面等への区内外企業広告の公募を。
 ②アントレプレナーシップ事業を増収を。
 ③区民向けメニューも加えたふるさと納税を。
 副区長 ①②様々な手法等を活用し広告事業拡充に取り組む。
 ◆**自転車の安全対策について**

うに臨むのか。
 ③支援制度をどのようにしていくのか。
 区長 ①27年度中に光が丘病院改築の基本構想をまとめる。
 ②積極的に意見を表明し病床確保に取り組む。
 地域医療 ③既存病院の増改築にも支援。
 ◆**安全・安心なまちづくりについて**

健康づくりについて

練馬区議会自由民主党 村上 悦栄

副区長 ①木造住宅密集地域改善の取り組みは。
 ②今後の江古田、北町地区整備促進事業は。
 副区長 ①災害危険度の高い地域での事業化を検討。
 ②事業期間を数年延長し、進める。
 ◆**みどり施策について**
 問 ①「みどりあふれるまちづくり」の取り組み状況は。
 ②「みどり30推進計画」は見

む。
 総務 ③区内資源の活用等効果的な枠組みを検討。
 ◆**健康づくりについて**
 問 ①ロコモティブシンドロームの予防啓発のフリーペーパー作成を。
 ②糖尿病予防の啓発運動を。
 ③児童生徒や若者の健康診断や保健指導で、生活習慣病予防対策強化を。

健康 ①周知方法を工夫。
 ②組織横断的な取り組みを検討。
 ③様々な機会を捉え予防啓発。
 ◆**共生型福祉施設について**
 問 ①支援体制の構築を。
 ②看取り介護の安心体制を。
 福祉 ①先進事例等を踏まえ研究。
 ②病院や訪問看護事業所等との連携体制を構築。
 ◆**自転車の安全対策について**

直すべきでは。
 副区長 ①みどりを評価する新たな指標づくりに取り組む。
 ②29年度に改定予定の「みどりの基本計画」の中で見直す。
 ◆**子どもへの対策について**
 問 ①健全な大人となるための幼児教育はどうあるべきか。
 ②学習支援・居場所支援に取り組む意義は。
 ③学習支援等が現物支給の理由は。
 ④不登校対策の効果の見込みは。

一般質問(要約)

練馬区議会自由民主党 酒井 妙子

教育長 ①良質な教育や保育環境の整備が区の責務。
 ②家庭環境に左右されず、未来を切り開いていけるよう支援。
 教育振興 ③塾代等の費用助成では個々の状況に応じた支援ができない。
 ④学校教育支援センター(仮称)大泉分室で児童生徒にきめ細かく支援。

問 ①自転車の安全条例制定を。
 ②啓発運動の日の制定を。
 ③児童生徒に自転車のルール遵守等安全教育の実施を。
 ④損害賠償保険の加入促進を。
 土木 ①都条例の運用を注視し必要性を含め検討。
 ②検討。先行事例を参考に一層充実。
 ④分かりやすく重要性を周知。
 ◆**教育について**
 問 ①「チーム学校」施策の具現化を。
 ②学校問題解決支援チームの設置推進を。
 ③フリースクールなど多様な学びに対して積極的な支援を。

教育長 ①スクールソーシャルワーカー等専門職員を活用。学校の課題対応の機能を強化。
 ②弁護士等との連携を強化し支援体制を整備。
 ③不登校の児童生徒へ多様な機会を支援。

◆**区長の区政経営における基本的な考え方について**
 自治法や「マネジメント」の精神を職員にどのように植え付けていくか。
 区長 日々の仕事で得られる喜びや感動を職員とともに重ねる中で、意識の向上を実現。
 ◆**区のかたち、自治のあり方について**
 問 ①都区制度において、どのような見直しが必要か。
 ②現下の経済状況をどのように捉えているか。

今度こそ！大江戸線の延伸を皆の手で！

練馬区議会自由民主党 藤井 たかし

問 ①各区が自主的に責任ある行政を行える仕組みが必要。
 ②予断を許さない情勢。
 ◆**社会的インパクト投資について**
 問 新たな財源確保策として検討すべきだが区の所見は。

◆**公共施設等の対策について**
 問 ①区立施設の再編等で高齢化社会の施設充実を。
 ②新公会計制度の活用で区の資産の適正運用を。
 ③区立施設の敷地活用で歩行者安全確保を。
 区長 ①行政需要を踏まえて有効活用を図る。
 企画 ②適切な運用に努める。
 土木 ③可能な限り整備を検討。

◆**18歳選挙権について**
 問 ①全小中学校で主権者教育を。
 ②区内大学構内に期日前投票所の開設を。
 ③学生等の住民票異動届出の推進を。
 ④若者に選挙時のネット利用のルールの周知徹底を。
 ⑤公職選挙法改正で想定される郵便投票者拡大等の事前準備を。
 教育長 ①より実践的な授業の実施を促進。
 選挙管理

◆**教育と道徳授業について**
 問 ①次代を担う子どもたちに対する思いと教育について
 区長の考えは。
 ②幼稚園教育の評価と今後のあり方は。
 ③道徳教育の教科化に向けた取り組み状況は。
 ④教員が子ども

公共交通安全白地域解消で、住みやすい練馬を

練馬区議会自由民主党 小川 こうじ

◆**大江戸線とまちづくり**
 問 ①本来の都市計画幅員を

◆**都市農業について**
 問 ①機械化促進等のさらなる支援を。
 ②農の学校で経営

◆**保健所長**
 ①獣医師会と検討中。「犬のしつけ教室」を光が丘以外の地区で実施予定。
 ②ボランティア連絡会の意見を聞き支援。
 教育長 ③学校教育全体を通じ動物愛護の精神を育む。
 ◆**高齢施策**
 ④介護予防効果等を期待。適切に対応。
 ◆**高齢者の熱中症対策について**
 ①防災行政無線やメール

◆**国民健康保険と介護保険について**
 問 保険の相互扶助の精神、哲学を強く訴えるべきと考え
 るが、区長の所見は。
 高齢施策 あらゆる機会を捉

公共交通安全白地域解消で、住みやすい練馬を

練馬区議会自由民主党 小川 こうじ

◆**動物との共生について**
 問 ①狂犬病予防接種率、飼育マナーのさらなる向上を。
 ②地域猫対策の周知、ボランティアへ一層の支援を。
 ③学校教育で動物との共生を。
 ④動物との共生で高齢者福祉を。

◆**高齡施策**
 ①関係部署と協議し効果的な方策を検討。
 ②表示方法を工夫。
 ③今後検討。
 ④検討。
 ⑤民間の受信センターを利用している見守りサービス事業の中で検討。

◆**公共交通安全白地域について**
 問 ①高齢化等を考慮し計画改定を。
 ②南大泉ルートを保谷駅南口の早期発着実現を含むみどりバスのルート等改善を。
 ③西部地域の道路整備を。
 技監 ①利用状況の変化等も参考に検討。
 ②道路整備の進捗に合わせて駅前広場管理者との協議等、実現に取り組む。
 土木 ③整備促進に努める。

◆**外環道について**
 問 ①整備の促進と東京オリピック・パラリンピック大会までの確実な開通を。
 ②新座スマートインターの経過は。
 技監 ①これまで以上に早期完成を国等に求める。
 ②新座市の動向把握に努める。

公共交通安全白地域解消で、住みやすい練馬を

練馬区議会自由民主党 小川 こうじ

◆**高齡施策**
 ①関係部署と協議し効果的な方策を検討。
 ②表示方法を工夫。
 ③今後検討。
 ④検討。
 ⑤民間の受信センターを利用している見守りサービス事業の中で検討。

◆**高齡施策**
 ①関係部署と協議し効果的な方策を検討。
 ②表示方法を工夫。
 ③今後検討。
 ④検討。
 ⑤民間の受信センターを利用している見守りサービス事業の中で検討。

◆**高齡施策**
 ①関係部署と協議し効果的な方策を検討。
 ②表示方法を工夫。
 ③今後検討。
 ④検討。
 ⑤民間の受信センターを利用している見守りサービス事業の中で検討。

※アントレプレナーシップ：職員が既存の枠に捉われない自由な発想で事業の企画・提案から事業化まで自らの手で実行。

◆戦争法案反対について

問 ①米国の戦争に自治体も駆り出されかねない危険性について、区の認識は。②国民の反対が戦争法案は、廃案を求めよ。

総務 ①国政の場における審議の動向を注視。②区として国へ意見を述べる考えはない。

◆生活保護と子どもの貧困

問 ①国に保護基準の改善要求を。②住宅扶助費引き下げで劣悪な住環境押し付けるな。③実効ある子どもの貧困対策を取るため、実態調査を。④就学援助基準の引き上げを。

福祉 ①国に改善を要求する考えはない。②住宅扶助費の範囲内で、適切な住居を確保できると考える。③個人情報保護や実態把握の精度等の課題がある。さらに検討を深める必要があることから、現時点で調査を実施する考えはない。

◆財政について

問 ①都区財政調整交付金の当初算定結果について区の認識と課題は。②受益と負担のあり方を含め、今後の財政健全化策の考えは。

企画 ①今回の結果は区の需要を一定程度反映したものと考えるが、特別交付金の割合の見直し、都市計画交付金のあり方等は、合意に至っていない。区長 ②事務事業や執行体制の見直しに努める。

◆高齢者てんかんについて

問 認知症の症状と類似している高齢者てんかんについての正しい知識と早期発見、早期治療の必要性の周知を。

高齢施策 認知症の早期発見・治療と併せ「認知症ガイドブック」等活用し周知する。

◆学期制について

問 ①三学期制へ移行するにあたり作成し、今年7月に配

ない。教育振興 ④現在のところ考えていない。

◆介護保険について

問 ①利用者に対し現行相当のサービスを抑制するな。②通所サービスの報酬がすでに20%も引き下げられた。区が支援し、改定前の報酬で実施を。③サービス低下が明らか

道路優先より、高齢者・子どもの対策を

日本共産党練馬区議団 ときや 英津子

な総合支援事業は中止せよ。高齢施策 ①ケアプランに基づき、利用者が必要なサービスを選択するためサービスの抑制にはならない。②区が引き下げた分を補填する考えはない。③中止の考えはない。

介護施設利用者補助について ①食費等の補助申請は通帳確認等、要件が厳しくなり、

布したパンフレットの活用方法と反響は。②三学期制に移行した際の効果の見込みは。③土曜授業への対応は。

教育長 ①保護者会や面談等で三学期制の効果や教育活動の変化等を説明。反応は概ね肯定的。②通知表の発行が2回から3回に増え、評価等を

ねり丸カップなどの大会創設を提案するが区の考えは。②福祉のまち練馬として練馬こぶしハーフマラソンに車いす部門の設置を。③練馬区スポーツ都市宣言を。④国際教育の一環として小中学校が参加国の歴史や文化を学び、応援する1校1国運動の導入を。

地域文化 ①国の補助金等を活用し充実。関係団体と協議を行い、事業内容や開催方法等を検討。②現状での設置は困難。③区民のスポーツ活動状況等を踏まえ引き続き検討。

持続可能な区財政に向け、区政改革の推進を

練馬区議会民主党無所属クラブ 倉田 れいか

きめ細かく伝えられること等。③三学期制移行で授業時間数に含まれない始業式等の回数が増えるため、教育課程を工夫し、授業時間を確保する。

東京オリンピック・パリオリンピックについて ①青少年スポーツ教育の一環として参加国の語学や習慣を学べる講習会の開催や、

清掃リサイクル事業について

昨年度比約千人減。区の認識は。②国の補助の厳格化に抗議し、中止を要求せよ。

◆高齢施策

問 ①制度の内容を理解し、該当と思われる方が申請した結果と認識。②区に中止を求める考えはない。

◆保育所待機児解消について

問 ①認可保育所希望者の不足

承認件数1千200件を踏まえ、整備目標の引き上げを。②認可保育所の待機児数を明らかにし、整備計画を立てよ。

教育長 ①アクションプランに基づき整備等を行う。特に、1歳児定員を拡大。②認可保育園に入園しなかった子ども

の数のみを待機児童数と捉えるのは適当ではないと考える。

◆小規模企業支援について 問 ①小規模企業振興基本法の具体化は。②公契約条例制定や住宅リフォーム、店舗等リニューアル助成の実施を。

◆区長

問 ①事業者の自立した活動に対し適切に支援を行う。産業経済 ②条例制定や助成等を行う考えはない。

◆まちづくりについて

問 ①10年後の都市計画道路整備率8割目標の根拠は。②まとめた検証もなく、整備率ありきの目標は撤回し、予算の使い方を区民の暮らし・福祉第一に切り替えよ。

技監 ①明確な目標を掲げ、整備を進める必要がある。整備が進む先行区と同水準の整備状況を目指す。②目標を変更する考えはない。

一般質問(要約)

問 ①第3次一般廃棄物処理基本計画目標達成に向けてさらなるごみ減量が必要。区の考えは。②拠点回収のみである古着・古布については、資源化推進のため集積所回収への見直しを。③ごみの収集・運搬経費削減、最終処分場の延命化、処理過程での電気やガスなどのエネルギー削減にもつながる不燃ごみの資源化推進を。

環境 ①雑紙回収袋をイベントで配布、生ごみの水切り効果や雑紙の資源化を区報や情報紙で周知等、さまざまな機会を通じて啓発する。②区民にわかりやすく、高齢社会にも対応した回収方法を検討。③効率的、効果的な回収方法を検討し、取り組みを進める。

◆区政運営を支える組織・仕組みについて 問 外部からのチェック・モニタリング機能を併せ持つ練馬型政策シンクタンク創設を。

企画 区政改革推進会議でビジョンの効果検証のあり方を検討し、チェック・モニタリングの仕組みづくりを進める。

◆学校教育におけるICTの推進について 問 ①学校のICT環境整備は。②ICTの活用による教育効果は。③教員のICTスキル向上への取り組みは。

教育長 ①28年度中に全校に有線LANを敷設。無線LANも順次準備。②考える力や判断力等の向上に結び付く。③専門支援員を活用。今後もモデル校設置等一層取り組み

◆区長の基本姿勢について 問 ①安保法案の存立危機事態における区の責任とリスクへの対応は。②区は非核都市宣言をしており核兵器の輸送を排除しない安保法に反対を。総務 ①国会等国政の場における審議の動向を注視。

◆マイナンバー制度について 問 ①リスク対応が不十分。区独自事務への拡大は疑問。区の考えは。②通知の送付先変更で、DV等の理由を明らかにしたくない人への対応は。企画 ①個人情報保護の観点に万全を期す。区民 ②丁寧な周知と個別対応も図り、制度への適応を促す。

◆東京オリンピック・パリピックへの対応について 問 ①外国人観光客を引き寄せる施策を。②練馬区の魅力をPRするための施策は。③新たな国際交流都市の検討は。

◆産業経済

問 ①アニメや練馬産野菜の商品開発等区の資源を内外に広くPRし魅力的な

◆都市農業の今後について

問 ①都市農業特区の進捗状況

アニメ・農業・文化芸術振興で質の高い街へ

練馬区議会自由民主党 高松 さとし

ものに充実。総務 ③都市農業等事業を通じた交流を検討。アニメ・マンガを活用したまちづくりについて ①大泉学園を中心にアニメ・マンガを活用したまちづくりのさらなる強化を。②東映アニメーション株式会社との連携に向けての進捗は。③区政70周年に向けてマンガ・

がると懸念。住民基本台帳の閲覧や写しを認めているか。区民 法令に基づく求めに対し、写しの提出ではなく、閲覧を認め必要な協力を行う。

◆男女共同参画計画について 問 ①第4次計画で取り上げられる施策の基準は。②高齢女性、非正規雇用の女性の貧困、性

環境 ①国のエネルギー政策

◆区民の命を守れ! 区の本気度を問う

生活者ネットワーク 橋本 けいこ

的マイノリティ差別の問題は。総務 ①懇談会の提言を踏まえた上で目標や課題を整理。②懇談会に諮りながら、区の実態に合わせた施策を検討。

◆社会貢献型後見人について 問 いわゆる市民後見人の対象を在宅にも広げ、積極的に取り組むべきだが方向性は。福祉 社会貢献型後見人の負

アニメの活用を検討を。産業経済 ①大泉地域の特色を生かした商店街の取り組みを支援。②商店街や鉄道事業者と連携し取り組みを推進。③産業や地域振興、観光等さまざまな分野での活用を検討。

◆都市農業の今後について

問 ①都市農業特区の進捗状況

アニメ・農業・文化芸術振興で質の高い街へ

ものに充実。総務 ③都市農業等事業を通じた交流を検討。アニメ・マンガを活用したまちづくりについて ①大泉学園を中心にアニメ・マンガを活用したまちづくりのさらなる強化を。②東映アニメーション株式会社との連携に向けての進捗は。③区政70周年に向けてマンガ・

がると懸念。住民基本台帳の閲覧や写しを認めているか。区民 法令に基づく求めに対し、写しの提出ではなく、閲覧を認め必要な協力を行う。

◆男女共同参画計画について 問 ①第4次計画で取り上げられる施策の基準は。②高齢女性、非正規雇用の女性の貧困、性

環境 ①国のエネルギー政策

◆区民の命を守れ! 区の本気度を問う

生活者ネットワーク 橋本 けいこ

的マイノリティ差別の問題は。総務 ①懇談会の提言を踏まえた上で目標や課題を整理。②懇談会に諮りながら、区の実態に合わせた施策を検討。

◆社会貢献型後見人について 問 いわゆる市民後見人の対象を在宅にも広げ、積極的に取り組むべきだが方向性は。福祉 社会貢献型後見人の負

担軽減や区民の制度理解等の課題があり、今後対応を検討。◆エネルギー政策について 問 ①原発再稼働は容認できない。区の考えは。②(仮称)練馬区エネルギービジョンでの再生可能エネルギー活用と省エネルギー施策は。

◆まちづくりについて

問 ①関越道高架下施設建設は、道路の大規模修繕を想定しているか。②石神井公園駅周辺地区まちづくり懇談会」の継続を。③「外環の2」は、住民への真摯な対応を。

◆区立学校の体罰について

問 ①早期に抜本対策を必要とする状況ではないことを、要とする。企画 ①早期に抜本対策を必要とする状況ではないことを、要とする。技監 ②今後も懇談会等を開催。③説明会で地域住民等の意見を広く聞き、都市計画変更手続きを進めた。事業化に際しても同様に進める。

◆防災・震災対策について

①地震・水害・噴火・竜巻等自然災害が頻発している。防災対策のさらなる取り組みを。

②区民の防災意識をさらに高め、食料や飲料水の家庭内備蓄の推進を。

③避難拠点や帰宅支援ステーションの情報の収集伝達について、区の取り組みを。

④災害時におけるSNSの活用について、区の見解は。

⑤災害時に指定の避難拠点や帰宅支援センター以外の避難者への対応は。

◆区長 ①安全安心なまち練馬の確立に向けて全力で取り組む。

◆危機管理 ②新しい「わたしの便利帳」の防災特集の中で、備蓄の必要性を伝える。

③訓練を通じて無線通信による情報連絡の実効性を高める。

④一層の活用を検討。

⑤臨時的避難所運

◆性的マイノリティの権利保障

①偏見や差別の現状に対する区の認識は。

②第3次男女共同参画計画から性的マイノリティの記述を除いた理由は。

③第4次男女共同参画計画に区の姿勢を明示すべき。

④相談窓口でも対象とする旨明示し相談しやすくすべき。

⑤教員や区職員への効果的な研修の実施を。

⑥区民向けの研修の継続的な実施と拡充を。

◆総務 ①誤解や偏見を取り除く等の周知啓発が重要。

②「人権尊重としての男女平等の意識づくり」の項目で対応。

③懇談会に諮り検討。

④区報等で周知。

⑤多様な手法を工夫し取り組む。

⑥さまざまな媒体を活用した啓発に取り組む。

◆外国籍住民との共生について

①多文化共生に向けた認識は。

②「練馬区国際交流・多文化共生基本方針」に示さ

営のガイドラインを作成中。

◆練馬のみどり観光施策について

①再来年の区政70周年を機に、既存の資源にひと工夫して、区外からも人が集まる観光施策の検討を。

◆産業経済 機会を捉え特色ある資源を生かした練馬ならではの取り組みを。

◆超高齢化対策の介護人材確保について

①資格取得に対する支援

◆区民の命を守る自然災害対策の強化を！

練馬区議会自由民主党 かわすみ 雅彦

◆自転車事故対策について

①自転車事故により、数

②小中学校からの介護教育の導入を。

③離職防止対策として介護ロボットの普及と実用化に向けて取り組みを。

◆高齢施策 ①事業者団体等の意見を聞き、あり方を検討。

②社会科や総合的な学習の時間等で少子高齢化社会の到来

◆交通安全 ①安全安心なまち練馬の確立に向けて全力で取り組む。

②交通安全ステッカーを

③交通安全ステッカーを

④交通安全ステッカーを

⑤交通安全ステッカーを

⑥交通安全ステッカーを

⑦交通安全ステッカーを

⑧交通安全ステッカーを

⑨交通安全ステッカーを

⑩交通安全ステッカーを

⑪交通安全ステッカーを

⑫交通安全ステッカーを

◆土木 ①導入には法整備が必要

②導入には法整備が必要

③導入には法整備が必要

④導入には法整備が必要

⑤導入には法整備が必要

⑥導入には法整備が必要

⑦導入には法整備が必要

⑧導入には法整備が必要

⑨導入には法整備が必要

⑩導入には法整備が必要

⑪導入には法整備が必要

⑫導入には法整備が必要

⑬導入には法整備が必要

⑭導入には法整備が必要

⑮導入には法整備が必要

⑯導入には法整備が必要

⑰導入には法整備が必要

⑱導入には法整備が必要

⑲導入には法整備が必要

⑳導入には法整備が必要

㉑導入には法整備が必要

㉒導入には法整備が必要

㉓導入には法整備が必要

㉔導入には法整備が必要

㉕導入には法整備が必要

㉖導入には法整備が必要

◆平成26年度決算と区財政について

①平成26年度の途中から

②平成26年度の途中から

③平成26年度の途中から

④平成26年度の途中から

⑤平成26年度の途中から

⑥平成26年度の途中から

⑦平成26年度の途中から

⑧平成26年度の途中から

⑨平成26年度の途中から

⑩平成26年度の途中から

⑪平成26年度の途中から

⑫平成26年度の途中から

⑬平成26年度の途中から

⑭平成26年度の途中から

⑮平成26年度の途中から

⑯平成26年度の途中から

⑰平成26年度の途中から

⑱平成26年度の途中から

⑲平成26年度の途中から

⑳平成26年度の途中から

㉑平成26年度の途中から

㉒平成26年度の途中から

㉓平成26年度の途中から

㉔平成26年度の途中から

㉕平成26年度の途中から

◆平成26年度決算と区財政について

①平成26年度の途中から

②平成26年度の途中から

③平成26年度の途中から

④平成26年度の途中から

⑤平成26年度の途中から

⑥平成26年度の途中から

⑦平成26年度の途中から

⑧平成26年度の途中から

⑨平成26年度の途中から

⑩平成26年度の途中から

⑪平成26年度の途中から

⑫平成26年度の途中から

⑬平成26年度の途中から

⑭平成26年度の途中から

⑮平成26年度の途中から

⑯平成26年度の途中から

⑰平成26年度の途中から

⑱平成26年度の途中から

⑲平成26年度の途中から

⑳平成26年度の途中から

㉑平成26年度の途中から

㉒平成26年度の途中から

㉓平成26年度の途中から

㉔平成26年度の途中から

㉕平成26年度の途中から

◆平成26年度決算と区財政について

①平成26年度の途中から

②平成26年度の途中から

③平成26年度の途中から

④平成26年度の途中から

⑤平成26年度の途中から

⑥平成26年度の途中から

⑦平成26年度の途中から

⑧平成26年度の途中から

⑨平成26年度の途中から

⑩平成26年度の途中から

⑪平成26年度の途中から

⑫平成26年度の途中から

⑬平成26年度の途中から

⑭平成26年度の途中から

⑮平成26年度の途中から

⑯平成26年度の途中から

⑰平成26年度の途中から

⑱平成26年度の途中から

⑲平成26年度の途中から

⑳平成26年度の途中から

㉑平成26年度の途中から

㉒平成26年度の途中から

㉓平成26年度の途中から

㉔平成26年度の途中から

㉕平成26年度の途中から

◆平成26年度決算と区財政について

①平成26年度の途中から

②平成26年度の途中から

③平成26年度の途中から

④平成26年度の途中から

⑤平成26年度の途中から

⑥平成26年度の途中から

⑦平成26年度の途中から

⑧平成26年度の途中から

⑨平成26年度の途中から

⑩平成26年度の途中から

⑪平成26年度の途中から

⑫平成26年度の途中から

⑬平成26年度の途中から

⑭平成26年度の途中から

⑮平成26年度の途中から

⑯平成26年度の途中から

⑰平成26年度の途中から

⑱平成26年度の途中から

⑲平成26年度の途中から

⑳平成26年度の途中から

㉑平成26年度の途中から

㉒平成26年度の途中から

㉓平成26年度の途中から

㉔平成26年度の途中から

㉕平成26年度の途中から

◆平成26年度決算と区財政について

①平成26年度の途中から

②平成26年度の途中から

③平成26年度の途中から

④平成26年度の途中から

⑤平成26年度の途中から

⑥平成26年度の途中から

⑦平成26年度の途中から

⑧平成26年度の途中から

⑨平成26年度の途中から

⑩平成26年度の途中から

⑪平成26年度の途中から

⑫平成26年度の途中から

⑬平成26年度の途中から

⑭平成26年度の途中から

⑮平成26年度の途中から

⑯平成26年度の途中から

⑰平成26年度の途中から

⑱平成26年度の途中から

⑲平成26年度の途中から

⑳平成26年度の途中から

㉑平成26年度の途中から

㉒平成26年度の途中から

㉓平成26年度の途中から

㉔平成26年度の途中から

㉕平成26年度の途中から

一般質問(要約)

政治はマイノリティのためにこそ！

市民の声ねりま 岩瀬 たけし

◆性的マイノリティの権利保障
①偏見や差別の現状に対する区の認識は。②第3次男女共同参画計画から性的マイノリティの記述を除いた理由は。③第4次男女共同参画計画に区の姿勢を明示すべき。④相談窓口でも対象とする旨明示し相談しやすくすべき。⑤教員や区職員への効果的な研修の実施を。⑥区民向けの研修の継続的な実施と拡充を。

◆外国籍住民との共生について
①多文化共生に向けた認識は。②「練馬区国際交流・多文化共生基本方針」に示さ

◆大泉のまちづくりについて
①閑越道高架下活用のため事業者等に約9億の支出を強いたことへの考えは。②住民同意が整わない中で例外許可した理由は。③過去5年の例外許可建築物の件数と住民不同意が3分の1を超えた数は。④東日本が必要と判断し実施環境を害するおそれがないと認められたため。⑤許可14件、3分の1を超えたものはない。

◆産業界の活性化
①区内経済の活性化につながるよう支援。②適切な会場の確保や利用団



本会議の録画放映をスマートフォン等でもご覧いただけます
※終了後、おおむね2~3日後からご覧いただけます。
区議会ホームページは、http://www.city.nerima.tokyo.jp/gikai/

練馬区議会は、区民の皆様の生活に関わるさまざまな問題について、活発に議論しています。
今後も、区議会ホームページ等も含め議会情報を積極的に公開していきます。
平成27年第三回定例会の一般質問は、9月7日・8日・9日の3日間、11名の議員が行いました。区議会だよりでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。
会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。
また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。平成27年第三回定例会分から本会議の録画放映が、スマートフォンやタブレット等でも視聴可能となりました。

